

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 11 月 5 日 (2009.11.5)

【公開番号】特開 2005-165684 (P2005-165684A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-024
 【出願番号】特願 2003-403759 (P2003-403759)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 5/00 (2006.01)
 G 0 3 B 27/72 (2006.01)
 H 0 4 N 5/232 (2006.01)
 H 0 4 N 1/40 (2006.01)
 B 4 1 J 2/525 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 5/00 1 0 0
 G 0 3 B 27/72 Z
 H 0 4 N 5/232 Z
 H 0 4 N 1/40 1 0 1 Z
 B 4 1 J 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 11 日 (2009.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力画像データに含まれる注目画像を抽出するステップと、該注目画像の特徴量に基づいて算出された標準補正值を用いて入力画像データを補正して出力画像データを生成する補正ステップとを備えた画像処理方法において、

該注目画像の領域を解析して、前記入力画像データの全領域に対する前記注目画像の領域の比率である面積比を含む特徴情報を取得するステップと、

前記面積比を用いて前記算出された標準補正值を修正して実補正值を取得する修正ステップと

を備え、前記補正ステップは、該実補正值を用いて入力画像データを補正することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 2】

前記特徴情報は、前記注目画像の領域における輝度情報、色度情報および D C T 情報をさらに含み、

前記修正ステップは、前記面積比以外の前記特徴情報をさらに用いて前記標準補正值を修正して実補正值を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理方法。

【請求項 3】

前記特徴情報から成功比率を算出するステップをさらに備え、

前記修正ステップは、該成功比率をさらに用いて前記標準補正值を修正して実補正值を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理方法。

【請求項 4】

前記修正ステップは、前記標準補正值に 1 以下の所定の修正比を乗じて前記実補正值を

取得することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項 5】

前記所定の修正比は、前記面積比が大きくなるほど大きくなるよう設定することを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理方法。

【請求項 6】

前記輝度情報から前記注目画像における平均輝度を算出するステップをさらに備え、前記所定の修正比は、該平均輝度における値を最大とするように設定することを特徴とする請求項 4 に記載の画像処理方法。

【請求項 7】

前記注目画像は、青空であることを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項 8】

前記注目画像は、人物肌であることを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の画像処理方法。

【請求項 9】

入力画像データに含まれる注目画像を抽出する抽出手段と、該注目画像の特徴量に基づいて算出された標準補正值を用いて入力画像データを補正して出力画像データを生成する補正手段とを備えた画像処理装置において、

該注目画像の領域を解析して、前記入力画像データの全領域に対する前記注目画像の領域の比率である面積比を含む特徴情報を取得する解析手段と、

前記面積比を用いて前記算出された標準補正值を修正して実補正值を取得する修正手段と

を備え、前記補正手段は、該実補正值を用いて入力画像データを補正することを特徴とする画像処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は上記の課題を解決することを目的とし、請求項 1 に記載の発明は、入力画像データに含まれる注目画像を抽出するステップと、注目画像の特徴量に基づいて算出された標準補正值を用いて入力画像データを補正して出力画像データを生成する補正ステップとを備えた画像処理方法において、注目画像の領域を解析して、入力画像データの全領域に対する前記注目画像の領域の比率である面積比を含む特徴情報を取得するステップと、面積比を用いて算出された標準補正值を修正して実補正值を取得する修正ステップとを備え、補正ステップは、実補正值を用いて入力画像データを補正することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の画像処理方法において、修正ステップは、標準補正值に 1 以下の所定の修正比を乗じて実補正值を取得することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

請求項 9 に記載の発明は、入力画像データに含まれる注目画像を抽出する抽出手段と、注目画像の特徴量に基づいて算出された標準補正值を用いて入力画像データを補正して出力画像データを生成する補正手段とを備えた画像処理装置において、注目画像の領域を解析して、入力画像データの全領域に対する注目画像の領域の比率である面積比を含む特徴情報を取得する解析手段と、面積比を用いて算出された標準補正值を修正して実補正值を取得する修正手段とを備え、補正手段は、実補正值を用いて入力画像データを補正することを特徴とする。